

会 議 録

会議名	令和4年度 第1回丸亀市行政評価委員会
開催日時	令和4年4月26日(火) 15:30~16:50
開催場所	丸亀市役所 4階会議室兼災害対策本部
出席者	<p><u>出席委員</u> 岩永十紀子、鹿子嶋仁、佐藤友光子、井上達也、嵯峨根真千子</p> <p><u>欠席委員</u> 高濱和則</p> <p><u>事務局</u> 市長公室長 山地幸夫 (市長公室秘書政策課) 課長 窪田徹也、政策マネジメント室長 高倉鋭悟 政策マネジメント室総括担当長 宇野大志郎、主任 大川智</p>
議 題	<p>1. 令和3年度行政評価(外部評価)結果の対応について</p> <p>2. 令和4年度行政評価について</p> <p>3. その他</p>
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	<p>ただ今より、第1回丸亀市行政評価委員会を開会します。はじめに4月の機構改革に伴い、政策立案機能の強化を目的に政策推進担当から政策マネジメント室に組織が変わり、人事異動で新たに配属された職員を紹介します。</p>
高倉室長	<p><自己紹介></p> <p>議事に入ります前に、本日の会議資料を確認します。</p>
窪田課長	<p>それでは、丸亀市附属機関設置条例第7条に基づき、会長に議長をお願いします。</p>
鹿子嶋会長	<p>議事に入ります前に、本日6名中5名の委員のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき会議が有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>では、議事の1「令和3年度行政評価(外部評価)結果の対応について」事務局の説明をお願いします。</p>
宇野担当長	<p><資料に基づき説明></p>
鹿子嶋会長	<p>総合計画後期基本計画を見ると、行政評価委員会としての意見・提言を基に成果指標がかなり充実したという印象を受けました。</p> <p>ご意見やご質問がなければ、議事の2「令和4年度行政評価について」事務局より説明をお願いします。</p>

大川	<資料に基づき説明>
鹿子嶋先生	令和4年度の外部評価については、例年の手法に合わせ総合計画の5つの基本方針からバランス良く1事業ずつ選定し、5事業を評価することでよろしいでしょうか。
委員一同	<了承>
鹿子嶋先生	評価候補事業一覧を見ますと大変多くの事業があり、一つひとつ確認していくには多くの時間を要することから、まずは事務局の提案をお伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。
委員一同	<了承>
大川	基本方針Ⅰ：No.12 子どもの貧困対策の推進 基本方針Ⅱ：No.18 空家対策の強化 基本方針Ⅲ：No.30 生産基盤の強化 基本方針Ⅳ：No.44 医療・介護連携の推進 基本方針Ⅴ：No.78 ふるさと納税の推進 以上5事業を提案します。
鹿子嶋会長	基本方針Ⅰについては、事務局より「No.12 子どもの貧困対策の推進」とご提案がありましたがいかがでしょうか。
佐藤委員	近年の課題となっている「No.3 教職員の働き方改革の推進」はいかがでしょう。
岩永委員	ここでいう教職員は、小中学校の教職員ですか。
大川	はい。
鹿子嶋会長	教職員の働き方改革は、教育委員会で進めていくもので外部評価に少しなじまない部分もあるかと思います。
岩永委員	喫緊の課題である子どもの貧困対策を先に評価すべきだと考えますが、事業費の子どもの居場所支援事業費は委託が大部分を占めるのでしょうか。
窪田課長	令和3年度までは、子ども食堂などの子どもの居場所づくりに係る取組に対し、補助金を交付するなどの取組を進めてきました。令和4年度からは委託料へ予算科目が変更となりましたが、市の取組の方向性について評価していただきたいと考え

	ご提案しました。
鹿子嶋会長	過去に関連予算の大部分が委託料であった事業を外部評価した経緯もあるので問題ないかと思います。
窪田課長	委託事業は原則市の事業と考えてください。
鹿子嶋会長	基本方針Ⅰについては、「No.12 子どもの貧困対策の推進」でよろしいでしょうか。
委員一同	<了承>
鹿子嶋会長	基本方針Ⅱについては、事務局より「No.18 空家対策の強化」とご提案がありましたがいかがでしょうか。
佐藤委員	「No.27 自主防災組織の体制強化」も大切だと思いますが、事業費の大きさに鑑みて「No.18 空家対策の強化」が良いと思います。
鹿子嶋会長	基本方針Ⅱについては、「No.18 空家対策の強化」でよろしいでしょうか。
委員一同	<了承>
鹿子嶋会長	基本方針Ⅲについては、事務局より「No.30 生産基盤の強化」とご提案がありましたがいかがでしょうか。
井上委員	総合計画後期基本計画の市長方針にも合致しているので、「No.30 生産基盤の強化」が良いと思います。他の事業についても、市長方針に配慮しながら選定するのが良いかもしれません。
鹿子嶋会長	市長方針は後期基本計画から新しく設けたものですね。
窪田課長	総合計画の計画期間は市長任期に合わせており、計画期間中の市長の方針を明らかにすることを目的に後期基本計画では市長方針を設けました。
鹿子嶋会長	市長方針が加わったことにより、事業選定する上での新たな要素が出てきたと思います。市長方針に基づく新たな事業については、従前から行っている事業と新たに始めた事業が混在しているため、行政評価になじまない事業もあるかもしれません。
井上委員	資料③の事業費が令和4年度になっていますが、評価の対象は令和3年度事業になるのでしょうか。

山地公室長	令和3年度の実績に基づく評価をしていただき、その事業を今後どうしていくかご意見をいただきたいと思います。
井上委員	令和3年度の実績に基づく評価となると、前期基本計画の最終年度の評価をするのでしょうか。
窪田課長	令和4年度の行政評価は新たにスタートした総合計画後期基本計画の重点プロジェクトの評価をしていただきます。ただし、評価の基となる資料が令和3年度中心になるということです。また、行政評価は総合計画の進行管理の役割も担っています。令和4年度の行政評価から後期基本計画の進行管理が始まるとご理解ください。
山地公室長	行政としては、事業の継続性を考えることも重要であると考えています。そのため、子どもの貧困といった課題はこれまでも取り組んできた課題であり、今後も取り組まなければならない課題であると認識しています。委員の皆さんには事業の継続性の観点から対象事業の拡充や見直しなど評価していただきたいと思います。
鹿子嶋会長	基本方針Ⅲについては、「No.18 空家対策の強化」でよろしいでしょうか。
委員一同	<了承>
鹿子嶋会長	基本方針Ⅳについては、事務局より「No.44 医療・介護連携の推進」とご提案がありましたがいかがでしょうか。
佐藤委員	医療・介護連携クラウドシステムはこれから構築するものでしょうか。
窪田課長	医療や介護サービス利用者を取り巻く関係者が、正確かつ迅速な情報共有を図ることを目的に平成28年2月にクラウドシステムを導入し、これまで一定の基盤を作ってきました。コロナ禍により医療や介護のさらなる連携が重要視される中、システム利用者も増えつつあると聞いています。
井上委員	「No.44 医療・介護連携の推進」の事業費はどのようなものに使われているのでしょうか。 また、「No.40 感染症対策の推進」はいかがのでしょうか。
窪田課長	クラウドシステムの委託料や使用料に使われています。システムの概要を申し上げますと医療・介護の関係者がシステムに登録をすることで、閲覧の同意を得た患者の病歴や処方箋などの情報を共有することができ、その患者への最適な処置がスムーズにできるようになるものです。

岩永委員	コロナ禍で医療機関を利用しにくい現状もあることから、システムを活用した情報共有が重要になっていると思います。
鹿子嶋会長	井上委員から「No.40 感染症対策の推進」とご意見が出ましたがいかがでしょうか。
岩永委員	4回目以降のワクチン接種のニーズが分からない状況で、行政評価委員会として評価するのは難しいのではないかと考えています。
窪田課長	新型コロナウイルス感染症の今後の見通しが立たない状況であることから行政評価になじまないと考え提案しませんでした。
井上委員	飲食店などへの支援策は行っていますか。
山地公室長	市単独の持続化給付金などの支援策を行っていますが、基本方針IVは健康福祉分野の取組が主であるほか、ワクチン接種事業費は国費であることから市レベルで評価するにはなじまないといった側面があります。
岩永委員	「No.46 生活支援体制整備事業の推進」の取組としてスマートモビリティが全国的に検討されているようですが、評価するにはまだ早いですね。
鹿子嶋会長	基本方針IVについては、「No.44 医療・介護連携の推進」でよろしいでしょうか。
委員一同	<了承>
鹿子嶋会長	基本方針Vについては、事務局より「No.78 ふるさと納税の推進」とご提案がありましたがいかがでしょうか。
佐藤委員	「No.73 市民交流活動センター（マルタス）の活用」はいかがでしょうか。私が所属している男女共同参画審議会で様々な意見や要望が出ていました。
窪田課長	マルタスについては、秘書政策課が所管する自治推進委員会の中で議論を重ねていることから今回ご提案しませんでした。ただし、委員の皆さんがマルタスについて外部評価をすべきと考えられたなら、それを否定するものではありません。
鹿子嶋会長	私はその自治推進委員会に所属しておりますが、同様の内容を繰り返し議論しても仕方がないとも思いますので、他の事業の方が良いかもしれません。
井上委員	事業費の大きさから目に留まってしまうのですが、「No.79 ボートレース事業経営基盤の強化」を評価するのは難しいでしょうか。

窪田課長	公営企業の目的である公共福祉への貢献について行政評価をするのは可能かもしれませんが、公営企業の事業全体を評価するのは難しいと思います。
井上委員	基本方針Vは、他の基本方針に比べ多くの事業があることから、ここから2事業選定するのはいかがでしょうか。
鹿子嶋会長	事業選定については、5事業程度とあるので、他に行政評価にふさわしい事業があれば基本方針Vから2事業選定しても良いかもしれませんね。
岩永委員	「No.84 自治体 DX の推進」は、ある程度の知識がないと難しいかもしれませんね。他にも「No.71 地域情報化の推進」もと思いましたが、成果指標を見るとデジタルデバイス支援説明会等の参加者数となっており、これは恐らく高齢者のスマホ講習を指していることから行政評価をしてもあまり効果がないと考えます。
鹿子嶋会長	取組の中身が見えてしまっていて評価しようがないと思います。
岩永委員	「No.68 女性活躍の推進」は最近の注目分野ではありますが、成果指標を見ると審議会委員の女性登用割合も国の目標である40%を超えていることから今回評価しなくても良いのではないかと思います。事業を拡充していくための評価であれば必要ではありますが。
佐藤委員	女性活躍の推進のためにどのように予算を使っているか興味はあります。
岩永委員	「No.67 ワーク・ライフ・バランスの推進」にも女性活躍の内容が含まれており、成果指標も今後取り組んでいかなければならない指標となっています。
山地公室長	「No.68 女性活躍の推進」は男女共同参画審議会という附属機関があり、そこで多くのご意見をいただいていることから「No.67 ワーク・ライフ・バランスの推進」の方が良いかもしれません。
鹿子嶋会長	委員の皆さんの意見をまとめさせていただきますと、「No.73 市民交流活動センター（マルタス）の活用」は自治推進委員会、「No.68 女性活躍の推進」は男女共同参画審議会とそれぞれの附属期間で議論されているのでこちらで評価しなくても良いのではないかと思います。 また、「No.79 ボートレース事業経営基盤の強化」は大きな事業費ではありますが、公営企業の決算を基に行政評価し経営改善などを意見・提言することは難しいと思います。
井上委員	ボートレース事業局に審議会はありますか。

山地公室長	ありません。
鹿子嶋会長	<p>「No.84 自治体 DX の推進」は、マイナンバーカードの取得の促進など丸亀市単独で推進する要素が少なく、国の方針に左右される部分が多いことから現状で評価をするのは難しいと思います。</p> <p>私としては、「No.67 ワーク・ライフ・バランスの推進」と「No.78 ふるさと納税の推進」の2事業にしたいと考えていますがいかがでしょうか。</p>
委員一同	<了承>
鹿子嶋会長	<p>令和4年度の外部評価は、「No.12 子どもの貧困対策の推進」、「No.18 空家対策の強化」、「No.30 生産基盤の強化」、「No.44 医療・介護連携の推進」、「No.67 ワーク・ライフ・バランスの推進」、「No.78 ふるさと納税の推進」の6事業となりました。第2回会議に向けてヒアリング資料の準備などをよろしくお願いします。</p> <p>以上で、議案については終了しました。その他で、事務局より何かありますか。</p>
大川	<今後の日程等について説明>
鹿子嶋会長	<p>委員の任期が8月3日で満了してしまうことから大変タイトなスケジュールとなりますが、ご協力のほどよろしくお願いします。</p> <p>それでは、本日の会議を終了します。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>